

## 哲 学

助 教 授 盛 永 審 一 郎

### ◆ 研究概要

- 1) 実存倫理思想の研究
- 2) 応用倫理学の研究
- 3) 哲学的生命論の研究

### ◆ 著 書

- 1) 盛永審一郎：ハンス・ヨナス。「環境と倫理」加藤尚武編，102，有斐閣，東京，1998.

### ◆ 原 著

- 1) 盛永審一郎：当為の存在論的基礎づけ—ヨナスの哲学的生命論—。思索 31：45-63，1998.
- 2) 盛永審一郎：患者—医師関係の理想的モデル(1)—ブローディの「相反する訴えモデル」。富山医科大学一般教育研究紀要 21：11-24，1998.

### ◆ 学会報告

- 1) 盛永審一郎：二人称の死。第4回日本臨床死生学会／第17回日本医学哲学・倫理学会合同大会シンポジウム「2人称の死」，1998，10。浦安。

## 法 学

助 教 授 阿 原 稔

### ◆ 研究概要

- 1) 昨年と同様，(イ)「医療保障の法構造」と(ロ)「医事・薬事法」について，研究を行っている。前者は，社会保障法における医療保障の理念と体系を考察するものである。また，後者は，健康権を基礎に独自の法領域としての「医事・薬事法」の体系化を意図するもので，現在，主にカナダの医事法と比較研究を行っている。

## 心 理 学

助 教 授 松 井 三 枝

### ◆ 学会報告

- 1) 野原 茂，鈴木道雄，松井三枝，山下委希子，松本香里，齋藤 治，倉知正佳，瀬戸 光：精神分裂病患者における単語記憶課題（Gold）遂行時の局所脳血流の変化—SPECTと三次元MRIとの重ね合わせによる再検討—。第20回日本生物

学的精神医学会，1998，3，北九州。

- 2) 殿谷康博，倉知正佳，齋藤 治，黒川賢造，松井三枝：精神分裂病患者における図形再生と探索的眼球運動について—横S図版を用いての検討—。第140回北陸精神神経学会，1998，6，金沢。
- 3) 松井三枝，Gur R.C.，Gur R.E.：脳灰白質と白質体積の性差。第21回日本神経科学会，1998，9，東京。
- 4) 松井三枝：性差からみた精神分裂病—脳画像および神経心理学的アプローチ—。第141回北陸精神神経学会，特別講演，1998，9，金沢。
- 5) 山下委希子，松井三枝，倉知正佳：単語記憶課題（Gold）日本語版作成の試み—健常者における検討—。第141回北陸精神神経学会，1998，9，金沢。
- 6) 松井三枝：精神病理学的パーソナリティ傾向と前頭葉体積との関係。第62回日本心理学会，1998，10，東京。
- 7) 松本香里，山下委希子，松井三枝：記憶範囲課題における再生方向の効果—モダリティ比較および健常者と分裂病患者の比較—。第17回日本基礎心理学会，1998，11，東京。
- 8) 倉知正佳，四衛 崇，野原 茂，住吉太幹，齋藤 治，鈴木道雄，萩野宏文，黒川賢造，山下委希子，松井三枝，森 光一，瀬戸 光：1. 精神分裂病の脳画像解析—3次元MRIによる脳室系の測定とSPECTによる賦活時の局所脳血流—。2. ストレスによる血漿中ホモバニリン酸濃度の変化。平成10年度厚生省精神神経疾患研究報告会，1998，12，東京。

## 行 動 科 学

教 授 福 田 正 治

### ◆ 報 告

- 1) 福田 正治，高間 静子：携帯型レスポンスアナライザの試作とその医学基礎教育への試み。医学教育 29：235-239，1998.

### ◆ 学会報告

- 1) Fukuda M.，Qin X. and Hasegawa K.：Effects of amygdala lesions on heart rate in psychological stress using the communication box. 24th Ann. Meet. of Neurosci.，Los Angeles，469. 17，1998.
- 2) 福田 正治，長谷川 嘉奈子：相関解析による

海馬体ラメラの機能的構造の解析. 第21回日本神経科学大会, 1998, 9, 東京.

## 数 学

教 授 南 部 徳 盛  
助 教 授 笹 野 一 洋

### ◆ 研究概要

南部徳盛:

- 1) 非線形退化型放物型方程式の研究
- 2) 非線形楕円型方程式の研究
- 3) 非線形常微分方程式の研究

笹野一洋:

- 1) 3次元多様体上の流れの位相的研究
- 2) 2次元多様体上の写像の位相的研究

### ◆ 原 著

- 1) Bandle, C., Nanbu, T., Stakgold, I.: Porous medium equation with absorption, SIAM Jour. Math. Anal. 29: 1268-1278, 1998.

### ◆ 学会報告

- 1) Nanbu, T.: On solutions of some nonlinear degenerate parabolic equations, 国際数学者会議 ICM98, 1998. 8. Berlin(Germany).

### ◆ その他

- 1) Nanbu, T.: On some estimates and the dead core of solution in some nonlinear parabolic problems, J. Lib. Arts Sci. Toyama Med. Pharm. Univ. 21: 1-10, 1998.
- 2) 笹野一洋: 授業アンケートに関する一考察. 富山医科薬科大学一般教育研究紀要 20: 75-101, 1998

## 物 理 学

教 授 豊 富 誠 三  
教 務 職 員 田 村 一 郎

### ◆ 学会報告

- 1) 田村一郎, 瀬戸 誠, 前田 豊: メスバウアー効果による $\gamma$ - $\text{Fe}_2\text{O}_3$ 超微粒子の物性. 平成10年度日本物理学会北陸支部・応用物理学会北陸・信越支部合同講演会, 1998, 12, 富山.

## 化 学

教 授 広 上 俊 一  
教 務 職 員 角 田 広 子

### ◆ 研究概要

広上俊一, 角田広子: 気相および凝縮系での2-アゼチジノンの構造と電子状態の研究: 計算化学的方法によるオレフィン分子と基底状態酸素原子の反応機構の研究: 計算化学的方法による3原子分子の解離反応の遷移状態の研究

### ◆ 学会報告

広上俊一: 基底状態酸素原子  $\text{O}(^3\text{P})$  とエチレンの反応: メチレン  $\text{CH}^2(\text{T})$  とホルムアルデヒド  $\text{CH}^3\text{O}(\text{S})$  への分解. 1998計算化学討論会, 1998, 5, 東京.

## 医 学 部 生 物 学

教 授 尾 崎 宏 基  
教 務 職 員 荒 館 忠

### ◆ 研究概要

糖尿病治療薬の開発を目的とした天然生理活性物質の探索に関する研究 (荒館 忠)

### ◆ 原 著

- 1) Miura Y., Ozaki H.S., Li T.-J., Uemura M., and Kitano M.: Experimental odontogenic cysts induced by in vitro 4-nitroquinoline 1-oxide (4NQO) treatment of F344 rat incisor tooth germs. J. Oral Pathol. Med., 27:53-58, 1998.
- 2) Tabata S., Ozaki H.S., and Uemura M.: Fluid flow in the dental pulp hypothesized by a morphological study. Oral Histol., 34: 3-7, 1998.
- 3) Tabata S., Ozaki H.S., Nakashima M., and Uemura M.: Blood vessels and nerve fibers in rat incisor pulp: Immunoelectron micro-scopic observation with anti-substance P antibody. Eur. J. Oral Sci., 106 (suppl 1): 388-391, 1998.
- 4) Tabata S., Ozaki H.S., Nakashima M., Uemura M., and Iwamoto H.: Innervation of blood vessels in the rat incisor pulp: a scanning electron microscopic and immuno-